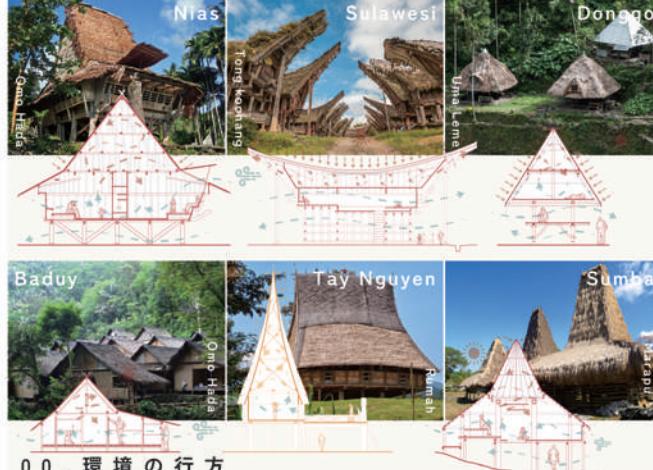


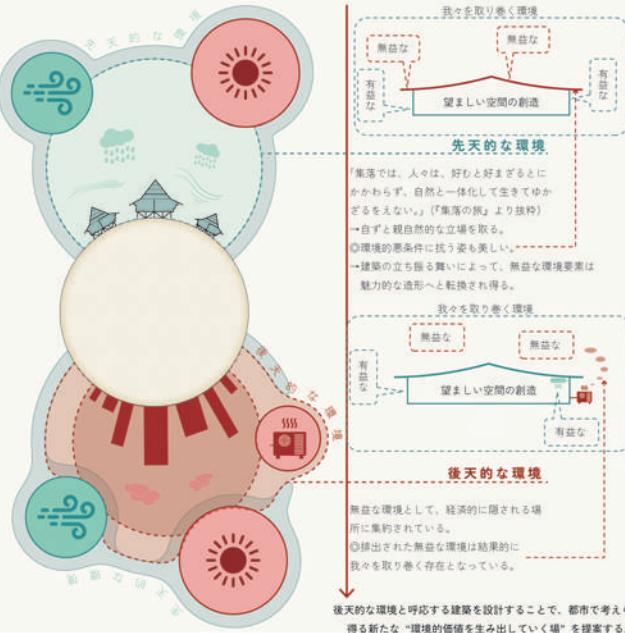
00. 集落の建築に惹かれる



00. 環境の行方

The image is a composite of several elements. On the far left, there is a close-up portrait of a man's face. To his right is a vertical collage featuring butterflies, plants, and what appears to be a small illustration of a person. Below these central images is a stylized drawing of a city skyline with various buildings and hills. To the right of the central collage is a white rectangular box containing Japanese text and icons related to environmental management. Further to the right is a blue rectangular box containing a simple illustration of a stick figure standing next to a red box.

0.1. 環境の多元性



02. 環境と集落



The map illustrates the historical movement of Melanesians from the Pacific Islands (e.g., Solomon Islands, Papua New Guinea) through the South China Sea into East Asia (e.g., Taiwan, Japan). A green arrow indicates the direction of movement along the coastlines and across the sea.

寛大さを覚える。

1

— 5 —

から
の学
び

断面分析

SECTION ANALYSE

生活空間の快適性を担保する環境装置としての空間

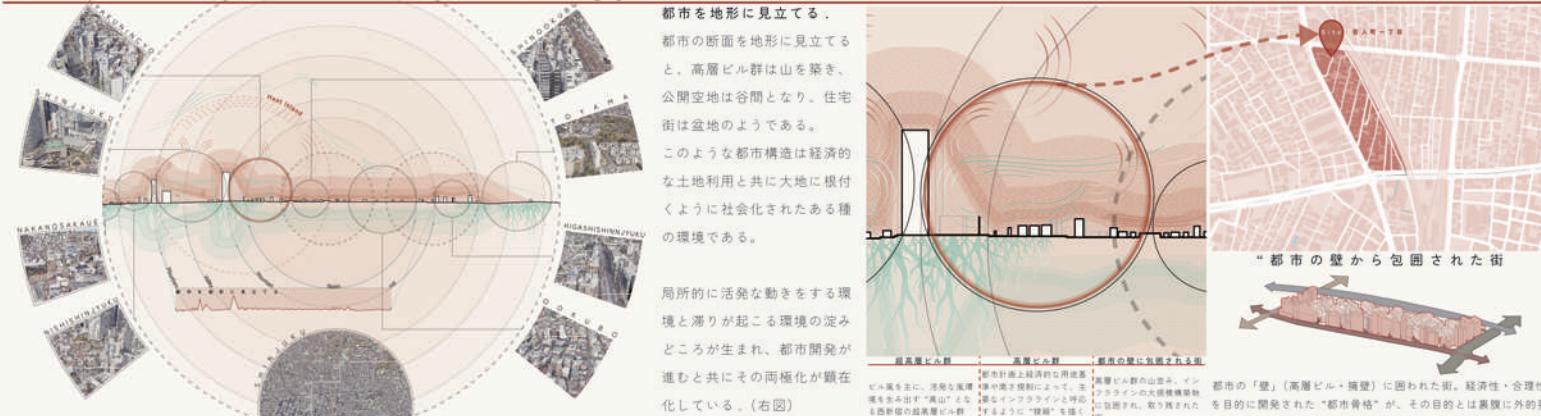
文化的な価値観から意味づけられた空間

外部環境と内部環境を接続する両義的な空間を設えている。

あらゆる気候帯や地理条件をもとに、ひとつの集落の形式として一般性を提示してきた建築を分析していく中で、ひとつの共通点があることに気づいた。それは、第一に「屋根」が環境に対する最適解を提示しているということである。如何に暑い地域でも、寒い地域でも、

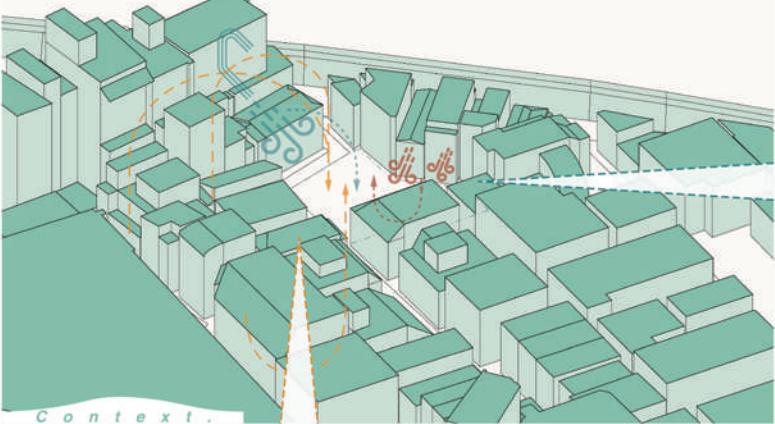
そのバックグラウンドに対して建築が対策を講じる時に、最も効果的な環境装置となるエレメントは屋根であるように考えられる。

0 3 . 環 境 分 析 | Urban Ecology



04. 抗生空間の投与 Case1 | Wind Catcher.

Environmental Elements



"エスニックタウン"
隣接する新大久保に通じて、アジアンカルチャーの強い店舗が路地に連なる。右の写真是計画敷地に隣接する。アパートの一階に店を構えたアジアンスタイルのお店。軒下からはみ出るほど今まで。営業物品を積み上げている。



Y字に枝分かれする路地が続く百人町一丁目の中で、唯一突き当たりが目に映る敷地。

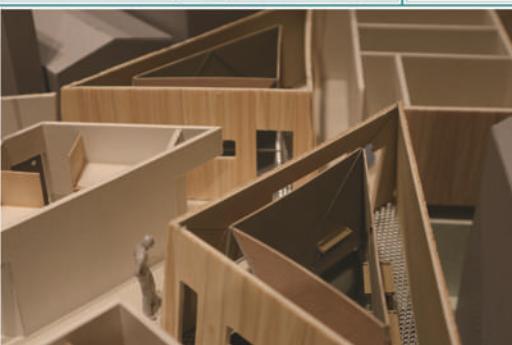
"異文化の混在"
商業街の裏手に位置するアパート。1階に店構える美容室は最早韓国語が掲げられている。日本で見ないカラーリングのパラソルや、ビニール素材の暖簾と異国語。街区や建築の構成は日本風でも、その場を使いこなす人々によって異なる性格の空間・壁面が創り出されている。



"景観に表出来る生活感"
屋外古着部に滲み出る生活感。新大久保方面に位置し、在日外国人が多いからか、外部に掛け出しことを許容する物の散居が何様に感じる。それからか、こうした地域では薄らエキゾチックな空間性が現れている様に思える。



2路の軸線を探ったボリュームが積層し、換気塔がそれらを串刺しにする。
百人町の分岐路に新たな環境の世界線が生まれる。



-廊下から垣間見える乾燥室-

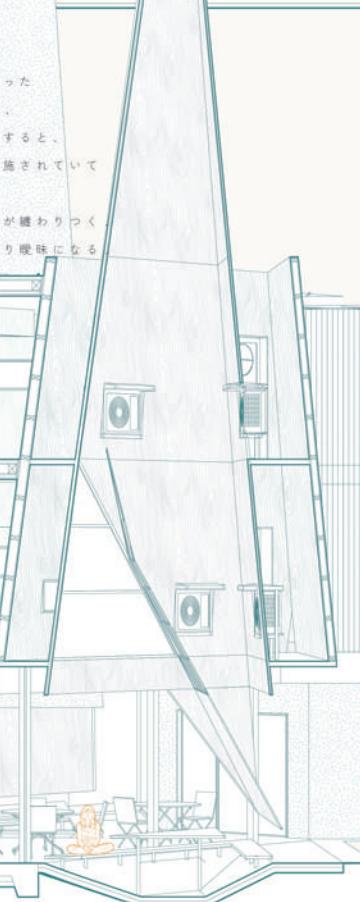
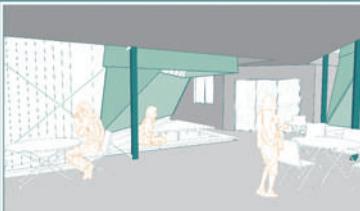
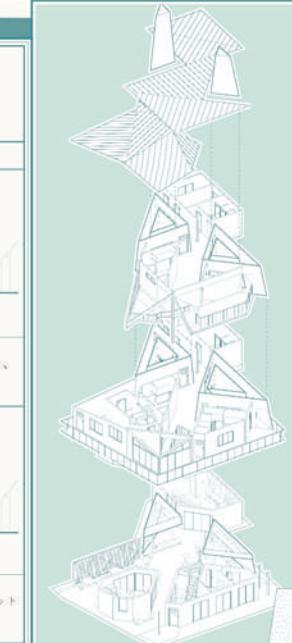
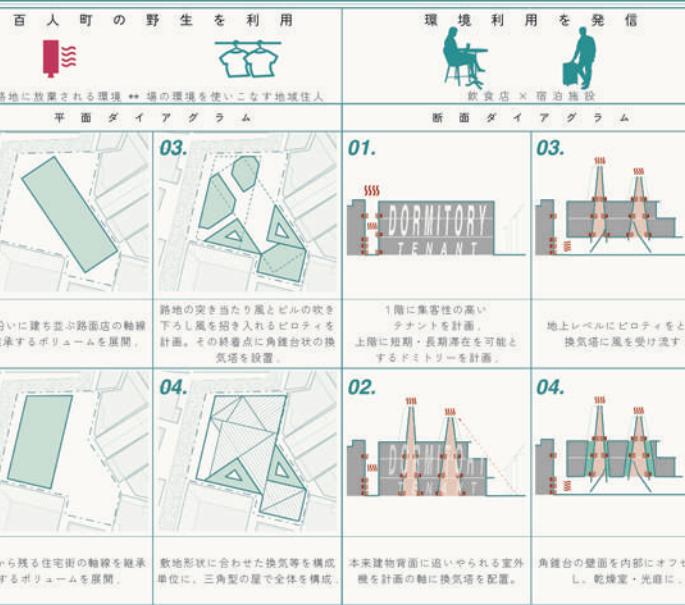
ドミトリートリに宿泊する人々の生活感が垣間見えつつ、柔らかい自然光が滲み出る。

乾燥室の床はエキスピンドルメタルが張り渡され南風光が上下に行き交う。

搬仕上げの外壁材は換気塔からセットバックした斜め壁に沿って、内部にまで張り巡らされる。

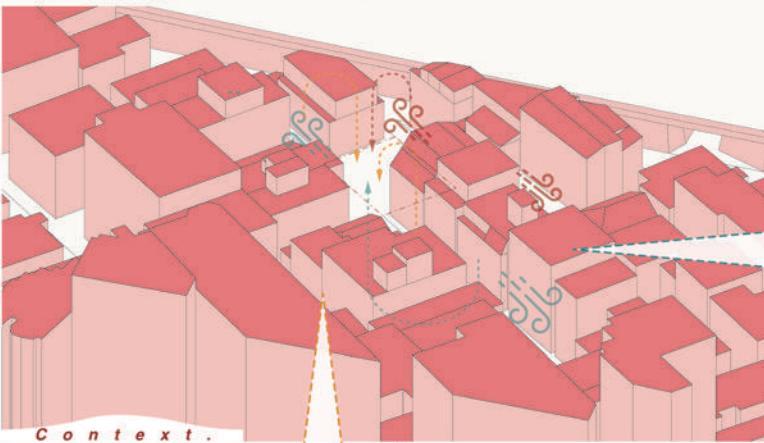


Diagram.



04. 抗生空間の投与 Case 2 | Wind Connector.

Environmental Elements



Context.

“都市の2面性”

Y字路の角地に位置する教科書店。擁壁通り沿いには壁で閉じ、内側街に向けて大きくショッターを開いている。ただひとつこの建物の特徴といふではあるが、その態度が街を構成するあらゆる部分から全体までを性格づけている。



ローカルな表情の街の表通りと、室外機置き場や違法駐輪の溜まり場となる裏路地の2面に接道する敷地。

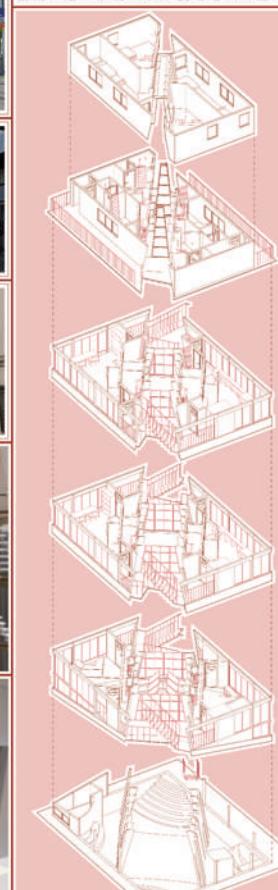
“表通り”

書店がショッターを開け、街路空間の印象が強張られている。向かいにも同店舗のテナントが店構えしており、営業者や利用者からは路地を画面下のような位置付けに切り替わる。些細な位置関係や、対話し人の営みが街並みの印象を和らげている。



“裏路地”

室外機を主にダクトや配管など、あらゆる設備の背面的な要素が集合している。暗黙の了解から性格づけられた空間に、疾しい場の使われ方が現れている。



— 垂木とルーバー —

中心の吹き抜けは少し勾配をかけ、室外機を集約した吹き抜けを設ける。内に秘めた環境に対する屋根となる意匠的イメージで、構造的な支柱になりつつ室外機を隔てルーバーを設える。これは構造的な支柱であると同時に垂木のようなイメージでもあり、ピロティを廻りファサードに表示することで、内外の環境が結束する全体性をも取り持つ。

Diagram.

街並みに表象される表と裏の営み



01.

既存のY字路に3本目の選択肢を与えるように動線を計画。

02.

中心に室外機に向ける吹き抜け空間をフィックスガラスで設え、その両脇に共用廊下と階段を設える。

03.

建室と室外機の吹き抜け空間の間に半屋外バルコニーを設けることで、断熱性を向上させるとと共に採光を得る。

環境を掛け合わせる



テナント × 広場 × 住宅



01.

1~4Fにはテナント・オフィスを収容し、高層階に住戸を計画。

RESIDENCE
MAIN STREET
TENANT

02.

中心に計画した吹き抜け空間に向けて諸室に接する熱風を送り込む。

RESIDENCE
TENANT

03.

1Fをピロティ化することで、吹き抜けの熱風を利用した上昇気流を生み出す。地上レベルにおいて、周囲を取り巻いた新たな風環境を生み出す。

SSSS



「メゾネット・レジデンス」

SF・GFには4戸のメゾネット型住戸を配置。

中央の吹き抜けから長方形へ開拓を計画していることから、

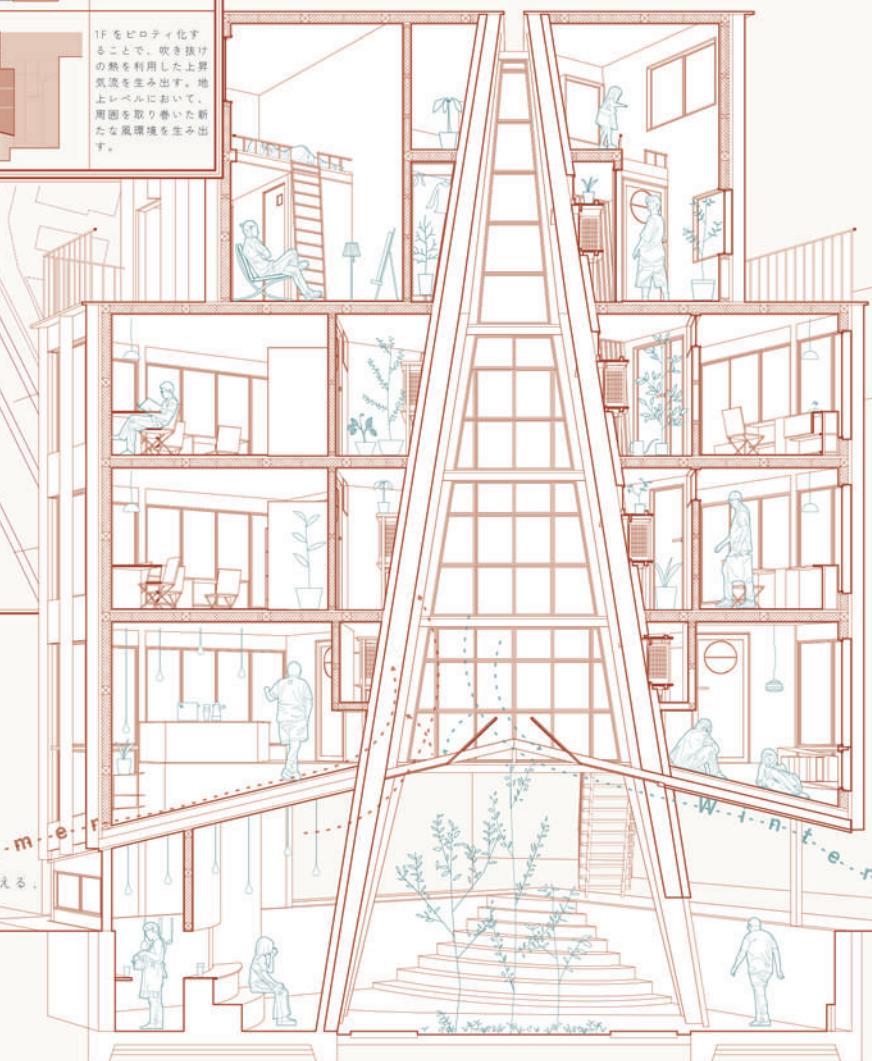
温度差・湿度差といった空間の性格が顕著に現れることを想定しており、隣地に併設する多様な場の使われ方をイメージしている。

「吹き抜けに面する共用廊下・デッキ」

サンクの割り付け、襖の梁、手摺と階段のフレーム、

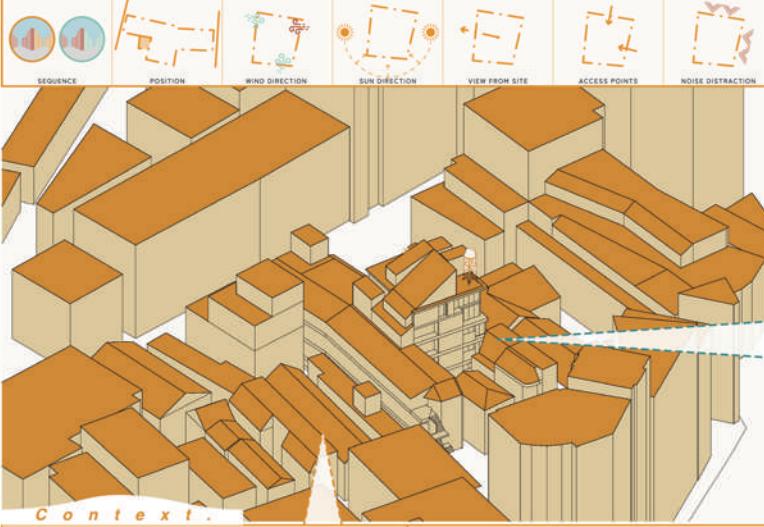
建築の構成材が延伸的に空間を領域づけることで、

囲まれた外部環境を演出する。



04. 抗生空間の投与 Case 3 | Wind Elevator.

Environmental Elements



Context.

“大久保駅前”



大久保駅前の繁華街と、専門学校や住宅が軒を連ねる閑静な路地の2面に面する雑居ビルへの増築提案。

“雑居ビル-繁華街側-”



増築計画対象建物の繁華街側のファサード。4フロアに渡ってテナントが収容されており、所狭しと看板が立て掛けられている。建物のフロアレベルを持ち上げ、地下へのエントランスが垣間見える雑居ビルが百人町には多くあり、街並みにも大きな印象を与えていている。

“雑居ビル-住宅街側-”



増築計画対象建物の住宅街側のファサード。古いレンガタイルが基調の仕上げで、看板の有無で繁華街側とはガラッと印象が変わる。地下へ繋ぐコインランダリーや無造作に区画された駐輪場など、街の生活感が垣間見える。

一狭小空間に 住う



建室は全て2段のボリュームから構成される。日常的な活動をする正方形グリッドのボリュームと、腰を下ろし休息する、種類をもつ天井高い低いボリューム。シンプルな2種の空間構成が螺旋状に伸び上がっていくことで、多様な関係性を築いていく。

一構造に纏う



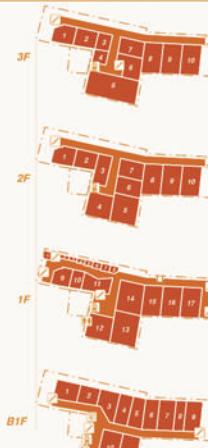
3mグリッドを45°に振ったフレームワークにボリュームを組み込み、廊下、ダクトを張り巡らす。フレームの角度に準じて部材を構成していくことで、内外の構成単位が一体化する。そうした空間の全体性を介して、環境を見つめ直す新たな視点を来訪者に与える。

Diagram.

大家・利用者が仮設的な設えを付加して
いくヴァンカムラーな建築空間のボテン
シャルを利用

可変性の高いスケルトンインフィルの
ユニット形式を提案

既存建物の構成と増築位置



断面ダイアグラム



01.

従来のビル建物の構成。



03.

屋根の積層を反復するトラスの構造体で全体を構成する。



諸室が副産する環境を軸に、受け流し屋根を積層。



室外機の熱風はダクトで受け流しつつ、人の居場所と併存させる。



敷地図 S=1/750



一内に伸びる軒

階段、ダクト、庇の間に、

事物が積層する。

ダクトの熱を遮る庇は視

線を走り、異なる居室の

入り口へと招き入れる軒

先になる。

ひとつのものにあらゆる

意味が付加されること

で、部材はあらゆるス

ケールを横断し、人々に

“気づき”を与える。

一 斜め壁から構成される空間

3mグリッドを45°に振ったフレームワークから空間を構成。

内部は高床の堅穴式住居のような断面形状をとるように、

壁面が床であり屋根でもある多義性をもつ。

その余白空間を螺旋状にとぐる巻く

廊下と階段室は半屋外空間で、

室外機の風を通すダクトと空間を共有する。

建物の空間構成と同調するように多様な環境が絡み合い、

その空間特性を利用者が使いこなしていく。

